

vESA でスパム対策やウイルス対策の更新をダウンロード/適用できない

目次

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[vESA でスパム対策やウイルス対策の更新をダウンロード/適用できない](#)

[正しいダイナミックホスト URL を使用するためにアプライアンスを設定して下さい](#)

[確認](#)

[トラブルシューティング](#)

[関連情報](#)

概要

この資料は仮想 な アプライアンスが正しく認可されるのに仮想 な E メール セキュリティ アプライアンス (vESA) が Cisco antispam エンジン (ケース) または Sophos や McAfee ウイルス対策のための更新をダウンロードしないし、加えると記述します。

前提条件

要件

次の項目に関する知識が推奨されます。

- E メール セキュリティ アプライアンス (ESA)
- vESA、仮想Web セキュリティ アプライアンス (vWSA)、仮想 な セキュリティ管理 アプライアンス (vSMA)
- AsyncOS

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づくものです。

- vESA、実行 AsyncOS その 8.0.0 およびそれ以降
- vWSA、実行 AsyncOS その 7.7.5 およびそれ以降
- vSMA、実行 AsyncOS その 9.0.0 およびそれ以降

本書の情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期 (デフォルト) 設定の状態から起動しています。稼働中のネットワークで作業を行う場合、コマンドの影響について十分に理解したうえで作業してください。

vESA でスパム対策やウイルス対策の更新をダウンロード/適用できない

antispam かウイルス対策をアップデートするとき、プロセスはアップデート強制コマンドを入力しても手を差し伸べ、サービス エンジンか rulesets にアップデートできません。

これらのコマンドの 1 つは vESA の CLI から直接入力されるかもしれませんが:

```
> antispamupdate ironport
>antispamupdate ironport force
>antivirusupdate force
>updatenow force
```

末尾 `updater_logs` を実行するとき、見られるエラーはこれらに類似したです:

```
Mon Oct 21 17:48:43 2013 Info: Dynamic manifest fetch failure: Received invalid update manifest response
```

これはアップデート 設定と関連付けられるダイナミックホスト URL が明らかな適切なアップデートに正しく達できないことを示します。ダイナミックホスト URL は `updateconfig` コマンド内で設定されます。サブコマンドは、`dynamichost`、ここに強調表示されるように `updateconfig` 内の隠しコマンド、です:

```
myesa.local> updateconfig
Service (images): Update URL:
```

```
-----
Feature Key updates http://downloads.ironport.com/asynco
McAfee Anti-Virus definitions Cisco IronPort Servers
RSA DLP Engine Updates Cisco IronPort Servers
PXE Engine Updates Cisco IronPort Servers
Sophos Anti-Virus definitions Cisco IronPort Servers
IronPort Anti-Spam rules Cisco IronPort Servers
Intelligent Multi-Scan rules Cisco IronPort Servers
Outbreak Filters rules Cisco IronPort Servers
Timezone rules Cisco IronPort Servers
Cisco IronPort AsyncOS upgrades Cisco IronPort Servers
IMS Secondary Service rules Cisco IronPort Servers
Service (list): Update URL:
```

```
-----
McAfee Anti-Virus definitions Cisco IronPort Servers
RSA DLP Engine Updates Cisco IronPort Servers
PXE Engine Updates Cisco IronPort Servers
Sophos Anti-Virus definitions Cisco IronPort Servers
IronPort Anti-Spam rules Cisco IronPort Servers
Intelligent Multi-Scan rules Cisco IronPort Servers
Outbreak Filters rules Cisco IronPort Servers
Timezone rules Cisco IronPort Servers
Service (list): Update URL:
```

```
-----
Cisco IronPort AsyncOS upgrades Cisco IronPort Servers
Update interval: 5m
Proxy server: not enabled
HTTPS Proxy server: not enabled
Choose the operation you want to perform:
- SETUP - Edit update configuration.
```

```
[ ]> dynamichost
```

```
Enter new manifest hostname : port
[update-manifests.sco.cisco.com:443]>
```

正しいダイナミックホスト URL を使用するためにアプライアンスを設定して下さい

基づいて顧客それらが Cisco を通して準どのようになのであるか向けに使用される 2 異なるダイナミックホスト URL があります:

1. アップデートmanifests.sco.cisco.com:443 使用方法 : 顧客 vESA、vWSA、vSMA
2. ステージstg updates.ironport.com:443 使用方法 : Friendlies、ベータ バーチャルおよびハードウェア アプライアンス

注: ハードウェア アプライアンス (C1x0、C3x0、C6x0 および X10x0) はアップデート manifests.ironport.com:443 のダイナミックホストしか URL 使用しない必要があります。ESA および vESA 両方とのクラスタ設定がある場合、updateconfig はマシンレベルで設定され、次に dynamichost がそれに応じて設定されることを確認する必要があります。

注: 顧客はベータ 使用方法だけのための Cisco を通って事前に提供へのアクセス権を得た場合だけステージング アップデート サーバ URL を使用する必要があります。ベータ 使用を適用される有効なライセンスを持たない場合アプライアンスはステージング アップデートサーバから更新を受信しません。

updateconfig および dynamichost サブコマンドからの継続として、ダイナミックホスト URL を必要に応じて入力し、主要な CLI プロンプトに戻し、変更を保存して下さい:

```
Enter new manifest hostname : port
[update-manifests.sco.cisco.com:443]> stage-stg-updates.ironport.com:443
[ ]> <<<HIT RETURN TO GO BACK TO THE MAIN CLI PROMPT>>>
```

```
myesa.local> commit
```

確認

アプライアンスが適切なダイナミックホスト URL および更新に今である正常手を差し伸べることを確認するために、これらのステップを完了して下さい:

1. デバッグするために updater_logs を高めて下さい。

```
Currently configured logs:> logconfig
```

```
Log Name Log Type Retrieval Interval
```

```
-----
1. antispam Anti-Spam Logs Manual Download None
[SNIP FOR BREVITY]
28. updater_logs Updater Logs Manual Download None
29. upgrade_logs Upgrade Logs Manual Download None
Choose the operation you want to perform:
- NEW - Create a new log.
- EDIT - Modify a log subscription.
- DELETE - Remove a log subscription.
- SETUP - General settings.
- LOGHEADERS - Configure headers to log.
- HOSTKEYCONFIG - Configure SSH host keys.
[ ]> edit
```

```
Enter the number of the log you wish to edit.
[ ]> 28 [NOTE, log # will be different on a per/appliance basis]
Please enter the name for the log:
[updater_logs]>
Log level:
1. Critical
2. Warning
3. Information
4. Debug
5. Trace
[3]> 4
[SNIP FOR BREVITY]
```

```
myesa_2.local> commit
```

2. antispam (**antispamupdate 強制**) またはウイルス対策 (**antivirusupdate 強制**) の強制アップデートを実行して下さい。

```
myesa.local> antivirusupdate force
```

```
Sophos Anti-Virus updates:
Requesting forced update of Sophos Anti-Virus.
```

3. 最終的には、末尾 **updater_logs** はアプライアンスが示されるように **dynamichost** に達できることを確認し、:

```
Mon Oct 21 18:19:12 2013 Debug: Acquiring dynamic manifest from stage-stg-
updates.ironport.com:443
```

トラブルシューティング

問題を解決するためにこれらのステップを完了して下さい:

1. デフォルト **updateconfig** が使用されるようにして下さい。vESA がホストがファイアウォールの後ろにある場合、[静的なサーバの更新](#)が使用中であることを確認して下さい。
2. 選択されるようにダイナミックホスト URL に **Telnet** で接続することができるようにして下さい:

```
> telnet
Please select which interface you want to telnet from.
1. Auto
2. Management (172.16.6.165/24: myesa_2.local)
3. new_data (192.168.1.10/24: myesa.local_data1)
[1]>
Enter the remote hostname or IP address.
[ ]> stage-stg-updates.ironport.com
Enter the remote port.
[25]> 443
Trying 208.90.58.24...
Connected to stage-stg-updates.ironport.com.
Escape character is '^]'.
^] ["CTRL + "]"
telnet> quit
Connection closed.
```

関連情報

- [静的サーバによるコンテンツ セキュリティ アプライアンスのアップグレードまたは更新](#)
- [テクニカル サポートとドキュメント – Cisco Systems](#)